

こどもたちは中山道をどのように理解しているか ～県内中学生へのアンケート調査から～

青木靖浩

What do children regard the Nakasendo as ?

～ According to the results of a questionnaire given to junior high school students in Gifu Prefecture ～

Yasuhiro AOKI

1 はじめに

当館では本年度の企画展のひとつとして「描かれた街道～国芳・広重の中山道～」を開催した。本展覧会をこどもたちにもわかりやすいものにしたというねがいから、県内の中学生を対象に中山道に関するアンケート調査を実施し、その結果を展示構成に生かす工夫をした。これはその際のアンケート結果の一部を報告するものである。

2 調査対象・調査日・調査項目

(1)調査対象

- 中山道沿いにある中学校として以下の5校に協力を
お願いした。(各校1年生40人、3年生40人)
- ・恵那市立恵那東中学校 ・大垣市立赤坂中学校
- ・御嵩町立向陽中学校 ・垂井町立不破中学校
- ・岐阜市立加納中学校
- 中山道から離れた地域にある中学校として以下の5校に協力をお願いした。
(各校1年生40人、3年生40人)
- ・高山市立松倉中学校 ・羽島市立桑原中学校
- ・下呂町立下呂中学校 ・南濃町立南濃中学校
- ・八幡町立八幡中学校
- 実際に回答した生徒数は以下のようであった。

	街道沿い	離れた地域	計
3年生	175人	191人	366人
1年生	184人	183人	367人
計	359人	374人	733人

(2)調査日

平成12年5月

(3)調査項目

「中山道」についてのアンケート

岐阜県博物館
平成12年5月実施

学校名：() 中学校) 1年生 ・ 3年生

質問① あなたは「中山道」ということばを知っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

質問①で「はい」と答えた人は質問②～質問⑩に続けて答えてください。
質問①で「いいえ」と答えた人は質問⑨・質問⑩(裏面)にのみ答えてください。

質問② あなたは「中山道」ということばをいつ、誰から(何から)はじめて学びましたか。

- 1 小学校の授業で習った。
- 2 中学校の授業で習った。
- 3 家族(親や祖父母、兄弟姉妹など)から教えてもらった。
- 4 地域の人との交流で知った。
- 5 テレビ、新聞、本(教科書以外)などから自分で情報を得た。
- 6 その他(具体的に書いてください。)

質問③ 「中山道」ができた(整備された)のはいつの時代ですか。

- 1 奈良時代 2 鎌倉時代 3 江戸時代 4 明治時代

質問④ 「中山道」はどことどこを結ぶ道ですか。

- 1 江戸(東京)と京都 3 江戸(東京)と伊勢(伊勢神宮)
- 2 江戸(東京)と大坂(大阪) 4 江戸(東京)と博多(北九州)

質問⑤ 「中山道」は岐阜県を通過していました。このことをあなたは知っていましたか。

- 1 知っていた 2 知らなかった

質問⑥ 岐阜県には「中山道」の宿場が16ヶ所ありました。

(※宿場・・・旅人がとまる施設が多く集まっている町)
1つでも知っている人は具体的に宿場名を書いてください。

- 1 知っている宿場の名を書いて下さい。たくさん知っている人はいくつ書いてもいいです。
- 2 1つも知らない

質問⑦ 「中山道」についてあなたが知っていることがあったら何でも書いてください。

[]

質問⑧ 岐阜県内の博物館や資料館で「中山道」に関する展示を見たことがありますか。

- 1 ある 2 ない

質問⑨ 岐阜県内の博物館や資料館で「中山道」に関する展示があったら、あなたは見に行きたいですか。その理由も簡単に書いてください。

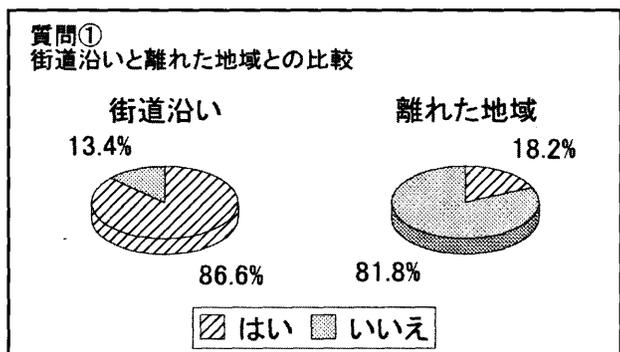
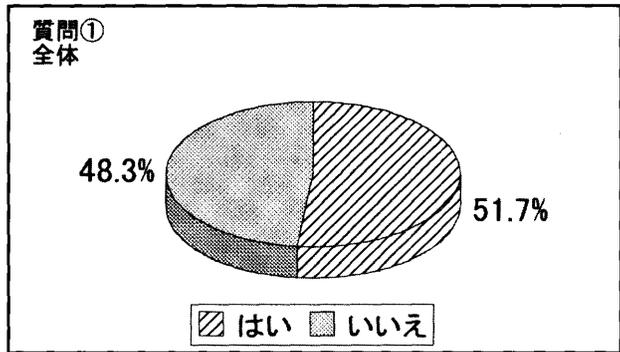
- 1 はい (理由:)
- 2 いいえ (理由:)

質問⑩ 質問⑨で「はい」と答えた人に質問します。あなたは「中山道」の展示としてどんな展示を見たいですか。見たいものに○をつけてください。(複数に○をつけてもいいです。)

- 1 歌川広重などの浮世絵
- 2 街道をえがいた絵地図
- 3 旅道具などの展示
- 4 図版パネルや街道を写した写真
- 5 その他(具体的に書いてください。)

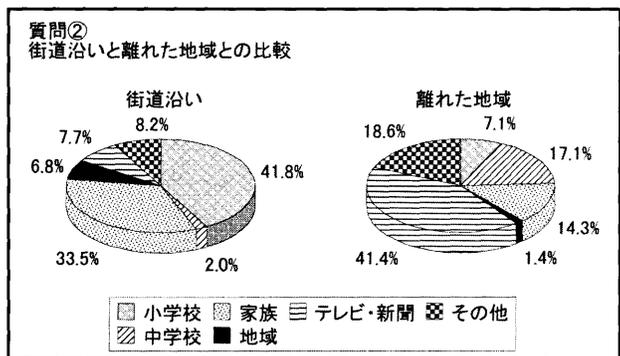
3 アンケート調査の結果（一部省略）

質問①あなたは「中山道^{なかせんどう}」ということばを知っていますか。



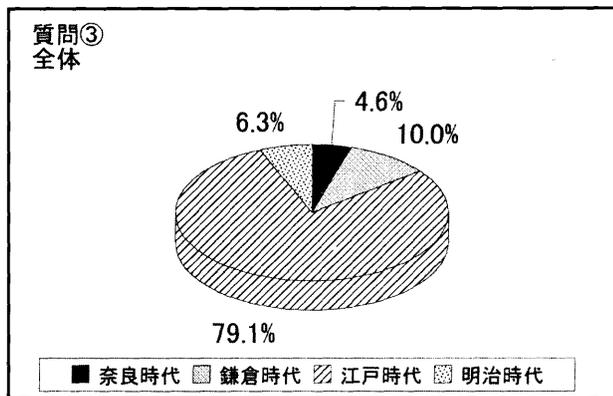
- ・「中山道」ということばを知っていた生徒は全体の51.7%であった。
- ・街道沿いと離れた地域との生徒では大きな差があった。

質問②あなたは「中山道」ということばをいつ、誰から（何から）はじめて学びましたか。*1)



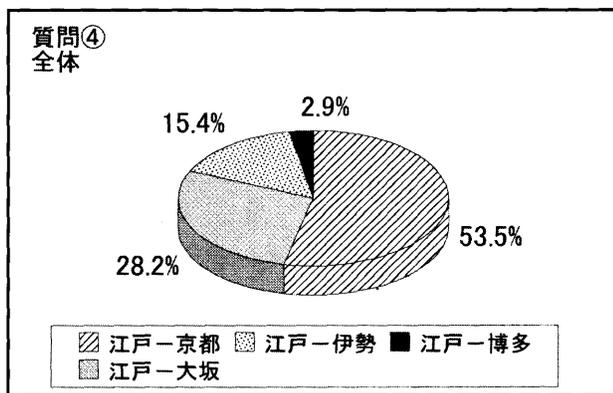
- ・街道沿いの中学生は小学校で学習した、家族から教えられたとする回答が多かったのに対し、離れた地域の中学生はテレビ・新聞などで知ったとする回答が多かった。

質問③中山道ができた（整備された）のはいつの時代ですか。



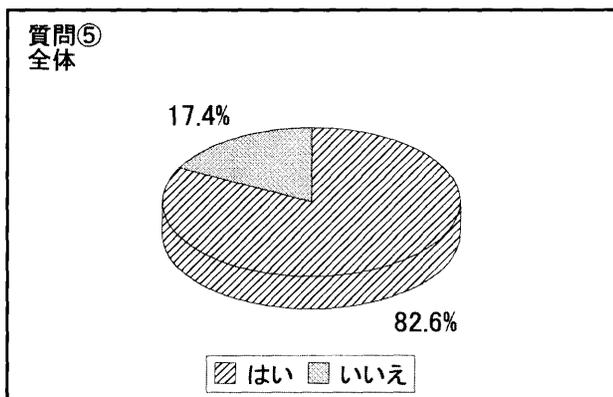
- ・79.1%が江戸時代と正しく回答したが、それはアンケートに回答した全生徒（733人）の37.6%に過ぎなかった。

質問④中山道はどこどこを結ぶ道ですか。*2)



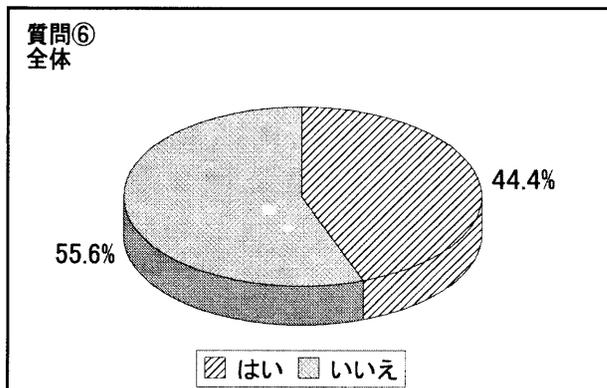
- ・質問③の正解率に比べ、誤った回答が目立った。
- ・正しく答えた生徒は、アンケートに回答した全生徒（733人）のわずかに25.1%であった。

質問⑤「中山道」は岐阜県を通過していました。このことをあなたは知っていましたか。



- ・知っていた生徒は、アンケートに回答した全生徒（733人）の40.9%であった。

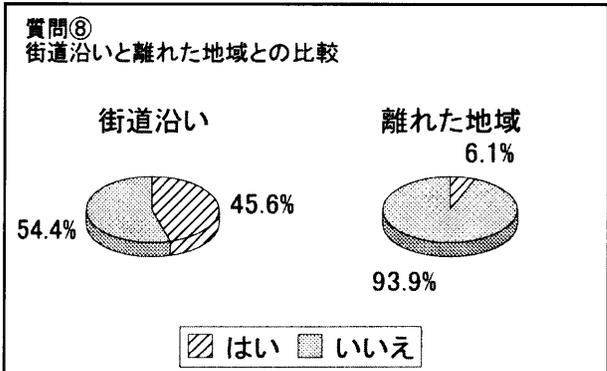
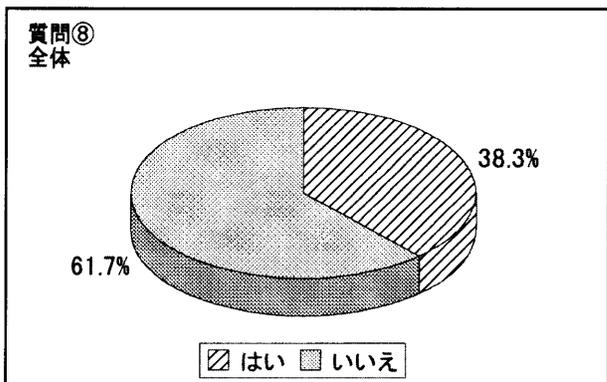
質問⑥岐阜県には「中山道」の宿場が16ヶ所ありました。1つでも知っている人は具体的に宿場名を書いて下さい。



- ・宿場ということばがわからなかった生徒もいたと思われる。
- ・44.4%の生徒が知っているとは回答したが、知っているとは回答した165人のうち、正しい宿場名を答えた生徒は、107人であった。
- ・街道から離れた地域の生徒で宿場名を正しく答えた生徒はわずか2人であった。
- ・誤答のなかで目立ったのは、「馬籠」と「妻籠」であった。

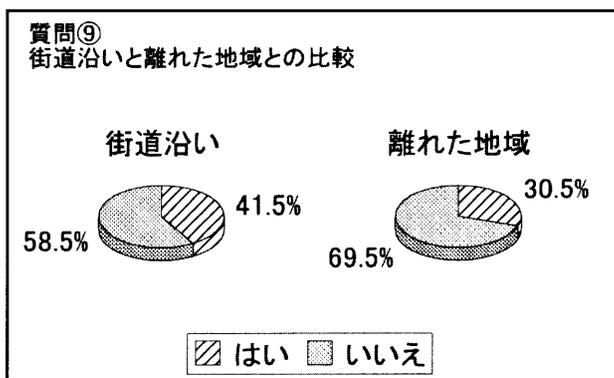
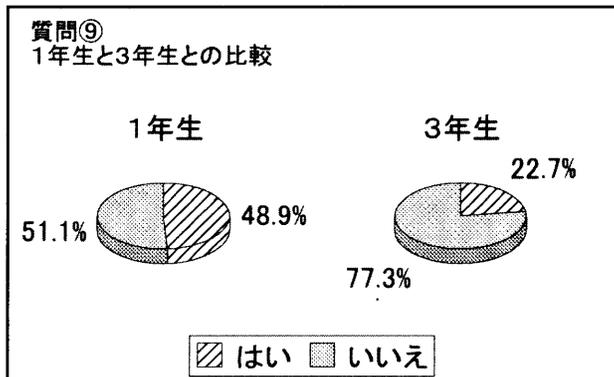
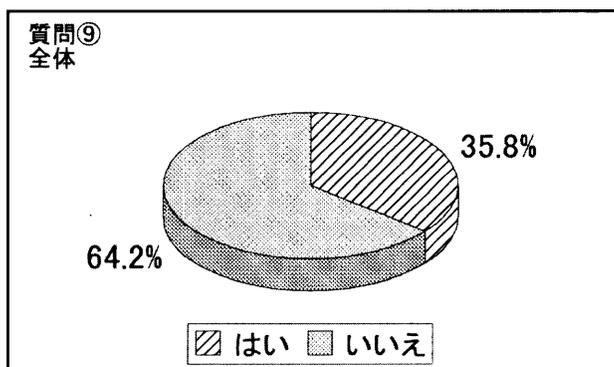
質問⑦ 省略

質問⑧岐阜県内の博物館や資料館で「中山道」に関する展示を見たことがありますか。



- ・全体では38.3%の生徒が見たことがあると回答した。
- ・街道沿いと離れた地域との差はやはり大きかった。

質問⑨岐阜県内の博物館や資料館で「中山道」に関する展示があったら、あなたは見に行きたいですか。その理由も簡単に書いてください。

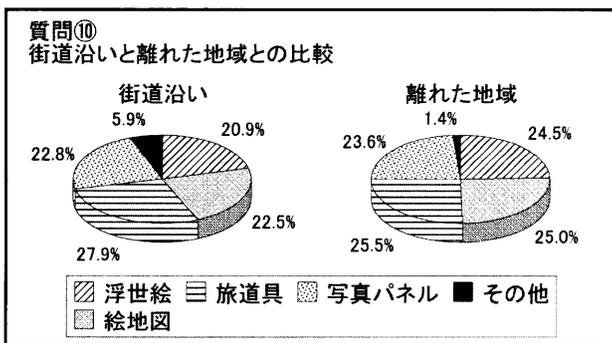


- ・残念ながら、見に行きたいと回答した生徒は35.8%に過ぎなかった。
- ・1年生の生徒の48.9%が見に行きたいと回答したのに対して3年生は22.7%で、地域差より学年の差が目についた。
- ・見に行きたい理由としては、知りたい、歴史が好き、1回も見ることがないので1回ぐらいは見たい、身近なことだから等であった。

- ・見に行きたくない理由としては、興味がない、おもしろくなさそう、見てもわからない、めんどくさい、役立ちそうにない等の他に、中山道の意味がわからないというものもあった。

質問⑩質問⑨で「はい」と答えた人に質問します。あなたは「中山道」の展示としてどんな展示を見たいですか。見たいものに○をつけてください。

- 1 歌川広重などの浮世絵
- 2 街道をえがいた絵地図
- 3 旅道具などの展示
- 4 図版パネルや街道を写した写真
- 5 その他



- ・複数に○をつけてもよいとしたこともあって、ほぼ平均的に分かれた。
- ・ことばだけでは、選択肢の具体的なイメージがつかみにくかったと思われる。
- ・その他、見てみたいものとして、中山道に関する漫画やゲーム、宿場で出された食事、中山道を通った旅人の残した物、中山道の模型があげられていた。

4 「総合的な学習の時間」と博物館

はじめに述べたように、中山道に関するアンケート調査を実施した理由は、中山道を子どもたちがどのように理解しているかを知ることによって、子どもたちにもわかる展示を工夫するためであった。

中学生が学校で使用している教科書には、「・・・幕府は、江戸を中心とする東海道などの五街道の整備に努め、街道には宿駅を、箱根などの要地には関所を置いた。・・・」（東京書籍・新編新しい社会・歴史）とする本文と簡単な五街道の地図が記載されているが、「中山道」ということばは出てこない。この点を考慮し、アンケートの結果を見直してみると、「岐阜県の子どもたちなら中山道は知っているのがあたりまえ」という先入観で展示を構成することには、無理があることがわかつ

てきた。そこで、子どもたちでも読めるような平易なキャプションを心がけ、街道の地図をパネルにし、子ども用ワークシートを作成するなどを試みたが、それでも十分とは言えなかった。より積極的に、小学校や中学校の先生方と連絡をとり、連携を深めるなかで資料の提供など、まだまだやるべきことはあったと反省している。

ところで、平成10年7月の教育課程審議会の答申を踏まえ、同年12月、完全学校週5日制による教育課程の基準として、小学校、中学校の新しい学習指導要領が告示された。そして、その新教育課程には、従来の教科の枠を越えた「総合的な学習の時間」が設けられた。

中学校の場合、「総合的な学習の時間」のねらいと時間については学習指導要領に明記されたが、内容については、「活動内容の課題」として、①国際理解、情報、環境、福祉、健康などの横断的・総合的な課題、②生徒の興味・関心に基づく課題、③地域や学校の特色に応じた課題、が例示されるにとどめられ、より具体的な内容は、各学校の創意工夫に任された。この「総合的な学習の時間」の創設によって、県内の各学校の中には、地域や学校の特色に応じた課題として、中山道を取り上げる学校も出てくると予想される。中山道というテーマに限らず、今後、博物館は「総合的な学習の時間」にどのようなかかわっていくことになるのだろうか。今、それぞれの館がこうした観点から博物館の展示を、そして博物館のあり方を見直す機会が来ていると言える。その際に、今回のような子どもたちの実態を把握するようなアンケートを、学校と協力しテーマを変えながら実施していくことも博物館を見直す有効な方法のひとつであろうと思われる。

すでに、街道をテーマにした実践を行っている小学校がある。恵那市立大井小学校³⁾では、特色を貫く学習活動として「ふるさと（中山道大井宿）学習」を行っている。地域を知り、地域の方から学び、地域と交流する活動と聞いている。垂井町立東小学校⁴⁾では、6年生が総合学習「ふるさと大好き！笑顔きり探検隊」を実践している。年間計画にもとづき、3回に分けて、校区内を通る「美濃路」の掃除を行ったり、「美濃路」の歴史を学習したりして、「美濃路」を守ろうとする気持ちを育てているとのことである。両校とも地元の博物館との交流に積極的である。

5 おわりに

生涯学習社会の形成をめざし、学社融合のあり方が検討されている。博物館の役割が益々増えてきたと誰もが感じている。そんな最中に、子どもたちが自ら考え、主

体的に学習を展開できるような「総合的な学習の時間」が創設された。学校外に広く情報を求める場合や体験的学習や問題解決的な学習を行おうとする場合、学校は博物館に連携を求めてくることもあろう。学校が開かれた学校へと変化をしつつあるように、博物館も開かれた博物館へと変わっていかねばならない。今回の中学生へのアンケートはそうした試みの一つであったと考えている。

最後になりましたが、アンケートへの御理解と御協力くださった各中学校の校長先生やクラス担任の先生、素直にアンケートに協力してくれた生徒の皆さんに厚くお礼申し上げます。

- ※1 質問②～質問⑧には、質問①で「はい」と答えた生徒が回答した。
- ※2 中山道は草津で東海道と合流するが、中学生対象のアンケートとして、江戸～京都とした。
- ※3 所在地 岐阜県恵那市大井町851-1 0573-25-5341
- ※4 所在地 岐阜県垂井町綾戸910-1 0584-23-2780

参考文献

- 今谷順重 1999. 『「総合的な学習」のための地域教材をつくる』教育開発研究所
- 児島邦宏・佐野金吾 1999. 『中学校学習指導要領の展開 総則編』明治図書
- 山極隆 1999. 『中学校学習指導要領の展開 総合学習編』明治図書